

## 小項目ごとの評価に関する検討結果

## 大項目 1 【教育研究等の質の向上に関する目標】

- 小項目評価にあたって考慮した事項
- ◎判断理由
- ※委員意見

平成 26 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
地域貢献ナンバーワン 大学への取り組み	(35) ～ (43)	IV	IV	<p>○国家試験合格率については、高い目標値の達成に向け取組んだが、一部達成できなかった。</p> <p>○EDGE プログラムの採択をうけ、企業と協同で産業界を牽引する人材育成プログラムの充実に取り組むなど、概ね年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○中小企業向けの補助金獲得支援について、高い採択率をあげている。</p> <p>○共同・受託研究件数について年度計画を上回り取組みを実施。</p> <p>○COI-T 事業を事業計画スケジュールどおり推進し、先端的研究分野の研究推進に取り組むなど、年度計画に基づいた取組みを実施。</p> <p>○府内市町村との連携事業を推進するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○COC 事業において、地域志向学生の育成を図るにあたり地域課題の認識と解決に向けた活動を行う地域実践演習を開講（試行）させるなど年度計画に基づき実施。</p> <p>○公開講座数について年度計画を上回り取組みを実施。</p> <p>○I-site を活用したセミナーの実施など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○貴重図書の展示の実施等、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎概ね各計画を順調に実施し、9 項目中 2 項目について計画を上回る実績を上げていることから、年度計画を上回って実施していると認め、総合評価IVは妥当と判断した。</p> <p>※平成 26 年度獣医師国家試験の合格率低下については、全国的な平均合格率の低下に認められるように、試験の難易度が高くなるなどの要因も考えられるが、合格率向上にむけた大学としての継続的な対応を期待する。</p>

諸機関との連携の強化	(44) く (53)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体等と連携した公開講座等を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○「関西科学塾」の事務局を担当し女子中高生対象の実験プログラムを実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○府内医療機関等の就職ガイダンスなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○実習病院との連携を図るなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○客員教授の受け入れなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○大阪市立大学との共同での <b>COC</b> 事業の推進など、大阪市立大等との連携事業を多数実施。</li> <li>○中小企業向け人材育成セミナーを堺市等と連携して実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○企業と協力体制で <b>BNCT</b> 研究センターの本格稼働を開始するなど、年度計画に基づいた取組みを実施。</li> </ul> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
国際化に関する目標	(54) く (56)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流会館の開設にあたり、コンセプトを策定するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○文科省奨学金の応募を促進し学生が採用されるなど、年度計画に基づき取組みを実施。</li> <li>○日本・アジア青少年サイエンス交流事業の採択、推進や泰日工業大学留学生支援事業の推進と継続拡充、留学生受入数の確保など、年度計画に基づき取組みを実施。</li> </ul> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p> <p>※留学生派遣の促進について、数値目標をもってさらなる対応が期待される。</p>

工業高等専門学校地域の地域貢献に関する目標	(77) } (80)	IV	IV	<p>○府大、府立産業技術総合研究所や関連企業と連携し、<b>JST</b> 委託事業 <b>SIP</b> プロジェクトの採択を受けるなど、年度計画を上回り取組みを実施。</p> <p>○新たに大阪電気通信大学と連携協定を結ぶなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○社会人へのリカレント教育の実施など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○児童・生徒対象の公開講座、出前授業について年度計画を上回り実施。</p> <p>◎各計画を順調に実施し、4項目中2項目について、年度計画を上回り実施していることから、年度計画を上回って実施していると認め、総合評価<b>IV</b>は妥当であると判断した。</p> <p>※出前授業等を多く実施し、また <b>SIP</b> プロジェクトの採択をうけるなど、計画以上の事業を実現したことについて評価できる。</p>
-----------------------	----------------	----	----	---

大項目2 【業務運営の改善及び効率化】

平成 26 年度計画	小項目番号	自己評価	委員会評価	判断理由・コメント (案)
法人組織の改革に関する目標	(81) } (82)	III	III	<p>○理事長・学長のトップマネジメントの発揮など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○教員活動情報データベースシステムの再構築、本格可動の実施など年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価の<b>III</b>は妥当であると判断した。</p>

教職員組織の運営の改善に関する目標	(83) ∩ (87)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○テニユア・トラック制度の継続実施し、多様な優れた人材確保を図るなど、年度計画に基づいた取組みを実施。</p> <p>○府大の教員業績評価制度の評価結果を踏まえた面談を実施し、一定の処遇反映を開始するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○高専の教員業績調書の評価項目を見直すなど年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○福利厚生事業等の周知活動を展開するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○情報基盤システムのマニュアル <b>FAQ</b> の再構築を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p> <p>※教員業績評価制度については一定の処遇反映を開始するなど、年度計画に基づき実施していることについて評価できる。</p> <p>各々の専門分野の状況をふまえた制度が導入されているところであるが、教育・研究活動がより充実するように、その運用について引き続きより適正な制度の検討及び実施に期待する。</p> <p>※優れた女性研究者の確保及び育成のため、女性研究者支援事業のさらなる充実を図りたい。</p>
教員組織の改革に関する目標	(88)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○学術研究院の課題等を整理し一部見直しを図るなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
事務組織の改革に関する目標	(89) ∩ (90)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○法人運営の自律化にむけ、法人職員化の推進など年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○法人統合の動向を踏まえた制度等検討など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>

コンプライアンス・リスクマネジメントの強化に関する目標	(91)	III	III	<p>○国の不正防止ガイドラインの改正に対応し、学内規程等を整備するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○各種監査、検査体制の強化に向けた取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p>
-----------------------------	------	-----	-----	--

### 大項目3【財務内容の改善】

平成 26 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
経常経費の抑制に関する目標	(92) }	II	II	<p>○財務諸表のセグメント分類表示など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○府大教員数配置が、年度計画を予定どおり実施できなかった。</p> <p>○高専教員 70 名体制とし、教職員の定数減に対応した学校運営を推進するなど年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎各計画を順調に実施しているが、3 項目中 1 項目について、年度計画を予定どおり実施できなかったことを勘案し、自己評価 II は妥当であると判断した。</p> <p>※大学教員数については、今年度は数値目標を達成していないものの、平成 26 年度当初 686 名から平成 27 年度当初 662 名と可能な範囲で着実な削減は行われており、計画の実施は一定進められていると認められる。</p> <p>教育研究水準の維持及び向上のためには、教員の配置について細心の注意が払われるべきであり、引き続き、教員の適正配置に向けた取組みに努められたい。</p>
	(94)			

自主財源捻出に関する目標	(95)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○新たに府大基金を「世界に翔けつばさ基金」の愛称にてスタートさせるなど、概ね年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p> <p>※大学の有する研究シーズや技術支援等のノウハウを活かしつつ、引き続き外部資金獲得に向けた取組みに努められたい。</p>
資産の運用管理の改善に関する目標	(96) く (97)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○施設総合管理業務委託の継続など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○スペースチャージ制度についての調査検討を進めるなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
学生納付金に関する目標	(98)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○授業料の水準を維持し、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
運営交付金に関する目標	(99)	Ⅲ	Ⅲ	<p>○運営交付金の効率的な執行に努め、事業評価を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>

大項目4【自己点検・評価及び当該状況にかかる情報の提供】

平成 26 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
<p>1 評価の充実に関する目標</p> <p>2 情報開示と戦略的広報に関する目標</p> <p>3 大学評価についての目標</p>	<p>(100)</p> <p> }</p> <p>(105)</p>	<p>III</p>	<p>III</p>	<p>○府大の次期認証評価受審時期等を決定しデータの収集を進めるなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○データ集の学外公開や大学評価室の設置決定など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○資料のデータベース化の継続など、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○ウェブやソーシャルメディアを活用した情報発信を図りながら、新たに「広報 Web マガジン」の試験運用を開始させるなど、中期広報計画に基づき広報活動を実施。</p> <p>○学術情報リポジトリのコンテンツを充実するなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>○大学ランキングの評価基準等の把握に努めるなど、年度計画に基づき取組みを実施。</p> <p>◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p> <p>※「データで見る公立大学法人大阪府立大学」の内容は、充実してきており、今後も幅広く各方面において活用されることを期待する。</p>

大項目5【その他業務運営】

平成 26 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
<p>1 教育研究環境の整備目標 2 安全管理等に関する目標 3 人権に関する目標</p>	<p>(106) く (111)</p>	<p>III</p>	<p>III</p>	<p>○工事費の高騰に伴い一部改修整備を変更し、年度計画に基づき取組みを実施。 ○府大において <b>ESCO</b> 事業者の導入を決定し事業者を選定するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ○高専において光熱水費の削減に取り組むなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ○部局の危機事象別対応マニュアルの見直しなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ○メンタルヘルスケア研修を開催するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ○人権ハラスメント研修を開催するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ◎年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。 ※学生に対するメンタルヘルスケアについての啓発、ハラスメントに対する予防措置の検討、実施に期待する。</p>